

清田の大クスは中部随一のクスの巨木として知られ、推定樹齢は1000年とされています。近年は、台風による塩害やクスサン（ガの仲間）の大発生など、災いにも見舞われました。そんな中、今年度は高所の枯れた枝を伐採する作業を行いました。

大クス周辺の道路は非常に狭く、車が入りません。そこで、ロープを使ったツリークライミングを駆使する業者に枝の伐採をお願いしました。地上10数メートルでの作業は、地上で見てもヒヤヒヤでしたが無事に終了。すっきりした姿をぜひご覧ください。

保全ボランティアに登録しませんか

- と き** 年2～3回 半日程度（登録者に事前連絡）
- と ころ** 清田の大クス
- 内 容** 草刈り、折れた枝の除去、土の掘り起こし、よしず・すだれの敷設
- 対 象** どなたでも（小学生以下は保護者同伴）
- 申し込み** 直接、電話、メールで、住所・氏名・年齢・電話番号を博物館（☒ museum@city.gamagori.lg.jp）へ。
- その他** 古くなったよしず、すだれを集めています。直接博物館へお持ちください。



カピバラのお腹の調子が悪いということ、笹を調達することになりました。もともとカピバラは草食動物で、うちの子たちはカボチャが大好きです。ニンジンも嫌い。食物繊維の多い笹はカピバラのお腹の調子が悪い時に食べさせると良いと、この業界では知られています。

買うと高いので、カピバラに毎日振り回されている担当者の副館長と一緒に、知り合いの所有する竹林に行ってきました。山は私にとって子どもの頃からの遊び場、いわば縄張り同然ですが、初めて行く副館長はイノシシ遭遇と真横の崖への転落を恐れ言葉少なめ。しかし薄暗く細い山道、天気も曇ってきたし、ここで突然イノシシが猪突猛進的にぶつかってきたらそのまま崖に転落して終わる



だろうな、あるいはやる気に満ちたクマが現れたら…と思うと私も言葉少なめになり早急に笹を調達。竹藪からイノシシもクマもかくや姫も出てくることなく無事に任務達成。

新鮮な笹をカピバラにあげると満足な顔をして即座に食べ始め、お代わりくださいと言っています。おいしそうに笹を食べてパンダのようです。現在60キロほどの体重があるたけすいのカピバラは、よく見ると後ろ姿がイノシシのようです。副館長よりも体重が重い。カピバラに激突されて崖に転落しないようにね、と副館長にアドバイスしておきました。